

「2019年度調査研究発表会」のアンケート結果

・発表会日時：2019年7月5日(金) 13:00～17:30 於・大成建設大会議室

・アンケート回収率：26% (=25/97人(参加者119名-講師・事務局19名・マスコミ 3名=97名))

質問	テーマ(項目)・評価											人数
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	
Q1 発表会全体 について	非常に良かった											5
	良かった											16
	普通											2
	悪かった											
	非常に悪かった											
Q2 良かったもの (複数選択可)	〔特別講演〕「国土交通省住宅局 住宅生産課」省エネ法改正を含む最近の住宅行政について											10
	〔都市居住〕都市居住研究委員会の活動成果報告「超高層住宅総合評価システムの試行」											14
	〔長寿命〕「先進的技術インフラシステムを活用する大都市圏における集合住宅等整備モデルのケーススタディ」											9
	〔長寿命〕「長寿命・低炭素建築・住宅を普及するための先進的技術インフラシステムの検討」											12
	〔長寿命〕建築基礎WG活動成果報告 「全体概要」											7
	〔長寿命〕建築基礎WG活動成果報告 「動的相互作用を考慮した地震応答評価」											11
	〔長寿命〕建築基礎WG活動成果報告 「傾斜支持地盤立地建物の地震応答評価」											9
	〔長寿命〕建築基礎WG活動成果報告 「場所打ち杭の構造性能の評価」											8
〔特別講演〕「土木+異業種で未来を創る～アニメとオープンイノベーションとファンタジー営業部～」											20	
Q3 会場は如何 でしたか？	非常に良かった											14
	良かった											8
	普通											2
	悪かった											1
	非常に悪かった											
Q4 主催者側の 対応は如何 でしたか？	非常に良かった											14
	良かった											10
	普通											1
	悪かった											
	非常に悪かった											
Q5 発表会の 意見・質問等	<p>アンケートに回答して頂きました方から、ご意見・ご感想を頂きました。</p> <p>〔意見・要望、質問〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質問」 <ul style="list-style-type: none"> ・太径の杭が林立すると側方の地盤が乱されることによる影響は生じるでしょうか？ ・「全体・各委員会」 <ul style="list-style-type: none"> ・数値、表、グラフの読上げをメインとされている発表は、結果や傾向に対する概要を総括的に説明した方がわかりやすかった。 ・会場が縦長でスクリーンまでの距離が長く、スライドの文字が見えなかった。全体的にスライドが見にくい(情報を入れすぎ) ・都市居住研究委員会の森本主査の発表は非常に具体的な対象を扱っており、良かったと思います。 ・発表分野が建築基礎に偏っている印象を受けました。 ・「特別公演」 <ul style="list-style-type: none"> ・最後の特別公演は非常に興味深いものだった。土建のイメージをどのようにめぐらさるか！ ・最後の特別公演は面白かった。 ・最後の特別公演は夢のある話で楽しく聞かせていただきました。 ・最後の特別公演は非常に良かったです。協会の趣旨とは違いますが。 ・誰もが興味を持てる最後の特別公演は面白かったです。 <p>※その他個々のご質問については協会より質問者様にご回答させていただきます。</p> <p style="text-align: right;"><ご協力、ありがとうございました></p>											